

学年 第5学年

単元名 平城ニュータウンの主人公

1 単元の目標

まちづくりについて興味をもち、中心となってまちづくりをしてきた人との話し合いやまちづくりに参加する活動を通して、自分たちが住むまちは自分たちがつくっていくという当事者意識を育てる。

2 単元について

・教材について

本校の校区は、主に大阪、京都のベットタウンとして発展してきた地域である。1970年からニュータウン建設が始まり現在に至る。本単元では、まちづくり活動の中心を担っている方々や場所に焦点をあてた活動を行う。ニュータウンのあゆみを学び、現在まちづくりに取り組んでいる方の話を聞く活動やフィールドワークを通して「自分たちもまちづくりに参加したい。」という意欲を高める機会を設定している。まちづくりとは何なのかを考え、公園の整備や防災への取り組み、地域の行事運営や自治体の各活動などがまちづくりにつながっていることに気づくことができる教材である。また、実際にまちづくりに参加する活動を設けることで、自分たちもまちづくりに貢献することができる実体験を通して、まちづくりの当事者意識を高めたい。

・児童について

本学年の児童は、地域の行事に参加する児童が多く、11月に地域で行われたキッチンカーフェスタ（感染対策は厳重に行った上で実施されている。）はコロナ禍にもかかわらず大賑わいであった。地域の各行事を楽しみにしていて参加率は高いが、主催者側として地域行事に参加したり関わったりしたことがある児童はほぼいない。各行事がどのように運営されているか、そこで活動する人々の考えや思いを知る児童は、ほとんどいないであろう。特に今年度は 感染予防対策のため、地域の方と意見交流をする機会や活動する機会が少なかった。そこでこの単元を設定し、この学習を通して、日々の地域の活動がまちづくりにつながっていることに気づかせたい。さらに、まちづくりを行うのは自分たちであるという当事者意識や自ら考え、積極的に意見交流する力を育むとともに、地域や自分の良さも実感してほしい。

・指導について

導入段階では、平城ニュータウンのまちづくりに目を向けさせるために、平城京ロータリークラブ主催の標語づくりに取り組む。この標語は、未来の高の原がテーマで平城ニュータウンにある小学校が取り組んでいる。「自然豊かなまちにしたい。」「笑顔あふれるまちにしたい。」など、児童のまちに対する期待や願いを、標語づくりを通して、ふくらませていく。「まちづくりとは何なのか。」「これからのまちづくりをどのようにすればいいのか。」という児童の疑問を基に、学習課題を設定し、ニュータウンのあゆみや現在まちづくりをされている方から話を聞く活動、フィールドワークを通してまちづくりとはどういうことなのかに気づかせていく。また、「自分たちもまちづくり参加したい。」という意欲を高め、まちづくりに参加する活動を取り入れながら、学習を展開していく。

まちづくりに参加する活動は、地域と連携しながら主催者としての企画、準備、運営、片付けをできるだけ児童が担うことができるようなものを準備していたが、緊急事態宣言が関西で発令されたため、大幅に活動内容を変更することになった。社会科の情報を扱う単元と連携し、フィールドワークを中心に取材活動を行う。取材内容は、ニュース番組として制作発信することにした。例えば、まちの憩いの場である平城第2号公園へ行き、いつもきれいに整備されていることや防災用品が保管されていることに着目させ、公園を整備している人たちの存在に気づかせ、まちづくりにつながっていることを気づかせる。気づいたことはニュースの形で動画制作を行い、発信していく。制作した動画は、言葉遣いやモラル、肖像権、著作権など、メディアリテラシー意識してチェックし、振り返る。このような活動を通して、自治体が行っている各行事だけでなく、日々の地域活動がまちづくりにつながっていることに気づかせ、誰でもまちづくりにつながる活動ができることを実感させることで当事者意識を育ませたい。

3 単元で育成を目指す能力・態度

【この題材で働かせるESDの視点(見方・考え方)】

○連携性

まちづくりは、各団体や各個人がそれぞれに行うものではなく、世代を越えて連携協力しながら進めることが大切であるということ

○責任性

今の世代がまちづくりを担っているが、新しい若い世代(子ども含む)もまちづくりに参加する当事者意識をもつこと

【この学習を通して育てたいESDの資質・能力】

○コミュニケーションを行う力

地域での活動がまちづくりにつながっていることについて、意見交流を通して、自分の考えをつくりあげる。

○他者と協力する態度

まちづくりの活動は様々な世代と協力して行うことが大切なので、積極的に協力していこうとしている。

○つながりを尊重する態度

地域の行事を企画運営することや建物を建てることだけがまちづくりではなく、各自治体の活動もまちづくりにつながっているの、自分たちも参加することができる。

【この学習を通して育てたいESDの価値観】

○世代内の公正

共に住むまちだから、ある世代ばかりがまちづくりを行うのではなく、全ての世代がまちづくりに貢献する。

【関連するSDGs】

○目標11：まちづくり

4 単元の計画

次	活動① これからの平城ニュータウン ～標語づくり～	評価規準	評価物等
第一次 2時間	<p>○テーマ 未来の高原</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>標語をつくってみよう!</p> </div>	<p>○つながりを尊重する態度</p> <p>・テーマにそって、進んで標語をつくっている。</p>	<p>・ワークシート①</p> <p>・標語作成用紙</p>
活動② わたしたちのまちのあゆみ → まちづくりは人づくり			
第二次 4時間	<p>○おかしの平城ニュータウンを写真で見よう</p> <p>【奈良県立情報館の河本さん】</p> <p>・現在の写真と見比べて残っているものやなくなったもの、新しいものを整理する。</p> <p>○街づくりに関わっている人に話を聞いてみよう</p> <p>【朱雀地区自治連合会 会長 作間さん】</p> <p>まちのイベント 学校とのつながり 作間さんの思い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まちづくりとは、何だろう?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>新しい世代が担ってほしい!</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>まちづくりは人づくり、人づくりは『コトづくり』</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これからの平城ニュータウンを考えるのわたしたち! 『コトづくり』に参加してみよう!</p> </div>	<p>○つながりを尊重する態度</p> <p>・学んだことから課題や「コトづくりをしてみよう」という学習課題を見出そうとしている。</p>	<p>・ワークシート②</p> <p>「おかしと現在をくらべて」</p> <p>・ワークシート③</p> <p>「まちづくりとは?」</p>

	<p>活動③ 『コトづくり』をしてみる! →</p> <p>○『コトづくり』～主催者として企画する～</p> <p>・朱雀まちづくり協議会と連携して実施する。</p> <p>企画 → 準備 → 運営 → 片付け</p> <p><u>※関西に緊急事態宣言が発令され、できなくなったので変更。</u></p> <p>第 三 次 8 時 間</p> <p>○調べ学習(歌姫近隣公園の瓦窯跡と平城京)</p> <p>・瓦窯跡って何?</p> <p>・どうして今も保存されているのだろうか?</p> <p>○フィールドワーク(平城第2号公園、3号緑地公園)</p> <p>・どうしていつもきれいなのか?</p> <p>→公園を整備している人たちがいる。</p> <p>・防災倉庫って何? ・なぜここに水道施設があるのかな?</p> <p>→災害が起こったときの備えをしている。</p> <p>→生活用水を確保している。</p> <p>・行事があるときはどんな様子かな?</p> <p>→まちの人たちや参加者がいっしょに楽しむことができる。</p> <p>○まちづくり協議会会長へのインタビュー</p> <p>・なぜ活動しているのか?</p> <p>→<u>日々の活動全てがまちづくりにつながっている!</u></p> <p>・困っていることは?</p> <p>→<u>新しい世代の参加者が少ない。まちづくりは、だれでも参加することができる。</u></p> <p>○ニュース番組形式で動画を制作し発信する。</p> <p>・構成を工夫して伝えたいことが伝わる動画を作りたい。</p> <p>・著作権や肖像権などモラルは大丈夫かな?</p> <p>○振り返り</p> <p>・動画を見た人に、感想を聞いてみる。</p> <p>・ここまでの学習を振り返り、考えが変わったことややってみたいと思うようになったことを中心に感想を書く。</p>	<p>○コミュニケーションを行う力</p> <p>・自分の考えをもち、友だちや地域の人と意見を交流している。</p> <p>○他者と協力する態度</p> <p>・役割分担しながら、協力して活動している。</p> <p>○つながりを尊重する態度</p> <p>・地域の活動がまちづくりにつながっていることに気づいている。</p> <p>・まちづくりは、誰でも参加できることに気づいている。</p>	<p>・ワークシート④</p> <p>【コトづくり提案書】</p> <p>・ワークシート⑤</p> <p>【振り返り用紙】</p>
--	--	---	---

5 本時案(11時間目)

(1) 目標

まちづくり協議会会長へのインタビューを通して、地域の活動がまちづくりにつながっていることに、気づくことができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準
<p>①前時までの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークで公園を整備している人たちや災害への備えをしていることを知ったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りやすいように、記録写真を活用する。 	
<p>「まちづくりとは？」のテーマでインタビューをしよう。</p>		
<p>②まちづくり協議会会長へインタビューする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりとは具体的にどういうことですか？ ・まちづくりの楽しさは何ですか？ ・困っていることはありますか？ <p>③インタビューした感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりとは、建物を作ったりイベントをしたりすることだと思っていたけど、公園の整備や災害への備えもまちづくりにつながっているんだね。 ・社会体育で活躍することもまちづくりにつながるのかな？ ・自治体の活動もまちづくりにつながっているんだね。 ・私たちを含めて若い世代がまちづくりを意識して参加することが大切だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に用意したインタビュー内容を基にインタビューさせる。 ・オンラインで行う。 ・事前に質問項目は、伝えておく。 <p>・インタビュー内容を基に意見交流ができるように、内容を板書しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会会長にも、オンラインで意見交流に参加してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○つながりを尊重する態度 ・地域の活動がまちづくりにつながっていることに気づいている。 ・まちづくりは、誰でも参加できることに気づいている。
<p>④本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を尊重して伝え合うことができたか。 ・学んだことを生かして意見をもつことができたか。 ・まちづくりについて自分なりの意見をもつことができたか。 	